

常盤だより

第 508 号
常盤小学校
常盤幼稚園

2026 年のスタート

校長 浮津 健史

午年がスタートして 1 カ月がたちました。特に今年は、丙午（ひのえうま）であり、丙（ひのえ）は「火」の要素があることから、太陽や生命のエネルギーを表すとされているとの事です。午（うま）は、駿足で、独立心が高いことから、丙午は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になると考えられています。本校の子供たちも、いろいろなことに勢いとエネルギーに満ちあふれながら挑戦して行ってほしいと思います。

3 学期は、6 年生の仕事を 5 年生が引き継ぎ、最高学年としての準備を始める時期でもあります。朝の校旗の掲揚の当番や朝会での挨拶などががんばっている様子を見ることができます。

また、他の学年も進級・進学を控え一つお兄さん・お姉さんになる準備を始める時期でもあります。一人ひとりの子どもたちが成長を実感できる 3 学期となしてほしいと思います。

2 月 14 日の土曜公開には、これまでの学習の成果を発表する機会でもある「ゆうゆう日本橋」が予定されています。すでに 2 学期から発表に向けた学習・準備を進めている学年もありますが、ぜひ学習の成果をご覧くださいと思います。

今年は、開校 154 年目の年でもあり、155 周年に向けて準備を始める年でもあります。子どもたちが常盤小学校の長い歴史を振り返りつつ、新しい常盤小学校を創造する年にしていきたいと思います。

席書会

国語科主任 木村 拓未

お正月に行われる習わしの一つである席書会。長い歴史をもつ日本の年中行事の一つです。1・2 年生は硬筆、3 年生以上は毛筆を使って取り組みました。各学年、めあてをしっかりともち、書くことができました。静かに筆を運ぶ姿からはその真剣さが十分に伝わってきました。

書き初めは文字の一画一画を丁寧に書くので、集中力が問われます。硬筆でも、毛筆でも、漢字やひらがなの大きさ、文字のバランス、止めやはらいなど多くのことに注意しながら書かなければなりません。したがって、席書会は書道の技術向上だけでなく、集中力や忍耐力の向上も期待できます。

それぞれが課題に向かって頑張った子どもたちが書いた作品を見返して、その努力をぜひ褒めていただけたらと思います。

